

鳥取県を見学して

この間、大阪大学との学外授業が行われた。今回の旅行先が鳥取県に決まった。しかし、旅行の当日に雨が降り始めて、いろいろな不便なことがあった。参加者の留学生の半分くらいが傘を持ってなくて、見学するのが大変だった。また、雨がきっかけで、以前決まっていた進路も変わった。神社の見学の代わりに水木しげるロードと言う有名な漫画家の記念館に決まった。自由見学時間が限られていたのでゆっくりみることができなかったが、いつかぜひもう一回行ってみたい。

鳥取県に向かっている途中で、蒜山高原と言うところで昼ご飯を過ごした。景色がとてもきれいで、気持ちよかった。それに、牛乳があまりにおいしくて、健康な昼ごはんになったと思う。泊りは海の近くにある温泉付きホテルだった。雨でぬれてしまったので、温かい温泉で体を温まり、そのおかげで誰も風邪をひかず次の日も元気で見学することができた。

次の日、鳥取県の名物である 20 世紀梨の記念館を見学した。日本でとても有名なフルーツである 20 世紀梨の歴史、育て方の変遷について教えてもらった。記念館の真ん中に大きい梨の木が置かれていて、まさに大きくてきれいだった。梨についての説明が終わってから、おいしい 3 種類の梨を試食できた。自由時間の時、記念館を一回早く回って、いっぱいお土産を買った。特に、記憶に残ったのは梨のソフトクリームだった。しっかり梨の味になっていて、とても美味しかった。

梨記念館を出てから、バスで次の見学場 — “鳥取砂丘” に移動した。普段、砂丘にラクダがいるらしいが、雨のせいで一頭もいなかった。砂丘は私が思ったより小さかったが、海と砂の丘の重なっている所がきれいだった。丘の上に登って、いっぱい写真を撮った。晴れの日、砂丘はとても暑くて、歩くのが大変のようだ。だから、晴れの日だったら、たぶん砂の丘の上に登れなかったかもしれない。旅行中に雨が降っているのが嫌だったが、その日だけ、雨でよかったと思った人が多少いたと思う。

これで二日間の旅行が終わった。このような旅行の一番よくない点は時間が限られているから、ゆっくり見学を楽しむことができないと言うところだ。しかし、いいところもある。それは、自分で知らなくて行かなかった場所に連れて行ってもらえるから、次に自ら行って、もう一回ゆっくり旅行することができることだ。だから、今度の見学は勉強になったと言える。